

## 「技術立社」

新規商品を“タイムリー”に“永久”に出し続けること

2006年 5月30日  
松下電工株式会社  
野村 淳二

新規商品開発マネジメントとは

**National**

新事業をつくり出すこと

新規商品をつくり出すこと

新規商品 : 増収増益型の新商品

新商品をつくり出すこと

## 大企業はイノベーションを生むのか？

National

(例)1950年代 コンピュータ

GE,ウエスチングハウス、RCA、ジーメンズ、フィリップス、東芝等  
成功したのはIBM(当時中小企業)

○規模の大きさ(大企業)

..... イノベーション、企業家精神 ..... 障害にはならない。

構造が必要 ..... しくみを作る必要がある。

**新事業は既存事業と分離して組織すること！**

- 理由:
- ・既存事業と比較すると、儲かるかどうかわからない。
  - ・同じ開発費を投入するなら既存事業の方が儲かる。
  - ・既存事業は仕事の進め方、プロセスが合理的に決定され、手続きもルーチン化されているが、新事業はQCDF全てがはっきりしない。誰が責任とるのかわからない。

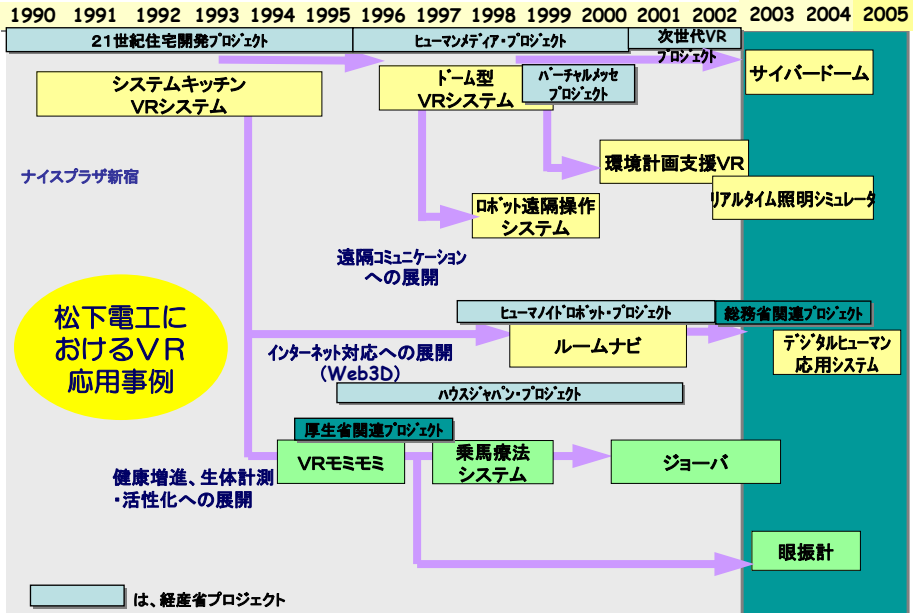
## 「新事業マネジメント」の欠落が成長を止める

National

- ・創業者自身がいつまでも自らマネジメントしていると必ず失敗する。他社に負ける。
- ・新事業の成長段階の各段階に対応してマネジメントチームを構築する必要がある。

# 事例:VR応用商品開発

National



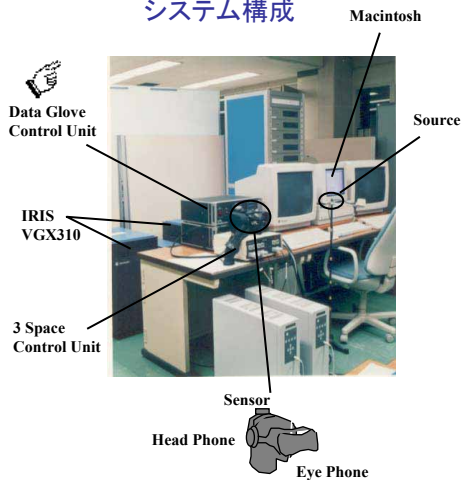
# システムキッチンVRシステム:ViVA

National

■ つくる前に、設計段階であなた固有のシステムキッチンの使い勝手を確認

## 1990年当時のVRシステム

### システム構成



### 新宿ショールームにおける体験例



## VR乗馬療法システム

(平成10年発売)

**National**

■腰痛予防、転倒予防、ボケ予防



フレ-&マスターズ 未来技術研究会(第5回)

7

## 普及型システム:ジョーバ

**National**

■家庭で気軽に乗馬療法を体験

最初のタイプ  
(H12年10月発売)



廉価タイプ  
(H13年9月発売)



ジョーバダイエットエクサ  
(現在のタイプ)



フレ-&マスターズ 未来技術研究会(第5回)

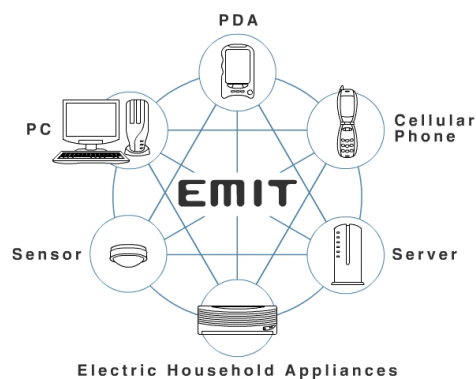
8



EMIT: Embedded Micro Internetworking Technology

設備機器をインターネットにつなぎ、コントロール、監視、  
この技術を活用し  
安心・安全、快適・便利、セキュリティ、省エネを実現

◎ユビキタス=人・家・ビル・街がオープンネットワークでつながる暮らし



※ユビキタスを実現するためのポイント・・・

- ①マルチプラットフォーム
- ②マルチベンダー
- ③マルチプロトコル

# 松下電器とのコラボ

National

## ◆コラボのシナジー最大化

息をのむ未来、体験

溜息のもれる暮らし、体験

**Panasonic**  
ideas for life



# シナプスネット

National

ユビキタスなソリューションを、  
オール松下で実現します。

暮らして、街で、オフィスで。  
安心・安全・快適・便利をまるごとお届けします。

**Sinapse-Net**

松下電器 時間の創造    松下電工 空間の創造

都市・社会の成長に伴って人々の生活環境も、急速に変化が起きます。個人・企業・社会で情報社会が実現しています。個人・情報機器の普及に伴い、住宅・学校・公共施設などでオフィスで多くのネットワークが構築されています。また、高度な機能・セキュリティを備えたネットワークが構築されています。この社会背景を踏まえ、松下グループが多種多様なソリューションシステムを一つの基盤として提供しているのがIPネットワークプラットフォーム「シナプスネット」です。松下電工が提供する「情報セキュリティ」に関するソリューションは、ネットワークを基盤として構築された多層システムの新規構築を得意とします。今回は、住宅・マンション・ビル・施設などで高度なセキュリティソリューションを提供し、ユビキタスなソリューションを実現しています。



INDEX

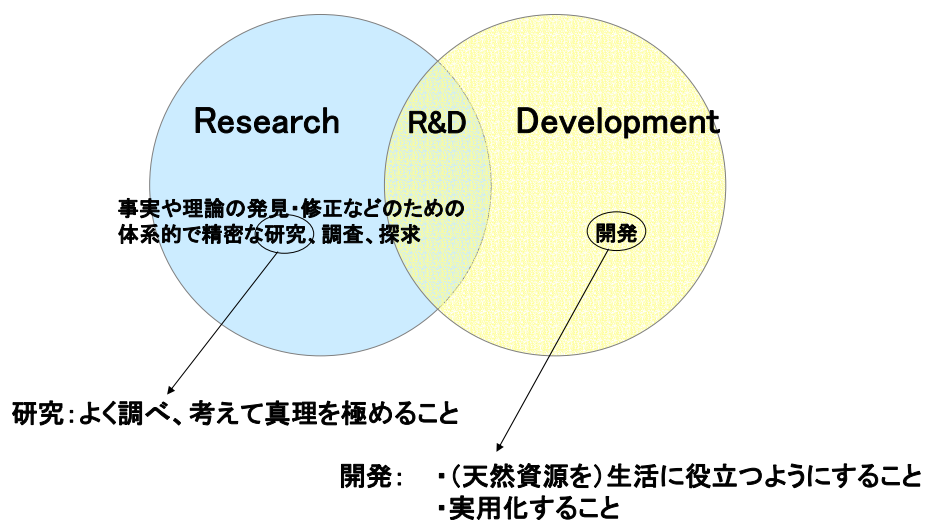
概要	001
サービス内容	002
お問い合わせ	003
お問い合わせ先	004

Technology (技術)  
= Knowledge + Skills

**Technology** : the total knowledge and skills available to any human society for industry, art, science, etc.

**Knowledge** : A clear and certain perception of truth and fact

**Skills** : Special ability acquired by experience



“発想”の場は“事業の場”

※但し、Scienceの知識の乏しいものにDelightな商品・システム企画はできない！

**C D P = Skills開発 ≡ K K D開発**

(現場でSkills開発するためにCDPを実施する)

**K K D Management System based on Truth・Fact & Skills**

→ Keiken — Kan — Dokyo  
(経験) (勘) (度胸)

**Technology = Knowledge + Skills**  
R (Analysis) **&** D (Synthesis)

- “&” を極めること  
(低いレベルから高いレベルまで無限にレベルがある)
- “&” は体得するもの(教えられない)  
(“R” と “D” は教えられる)

◆ 企業内の全ての業務に共通している  
(技術部門だけでない)